

■生活面で

- 生活上のきまったパターンをくずすことができない。
- 急な予定の変更や、日頃の習慣の変更に対応するのがむずかしい。

■学習・運動面で

- 話を聞かないといけな場面で離席が多く、落ち着きがない。
- 理解力はあるのに、読み書きの一部だけでできない、または、筆算はできるが暗算ができないなど、学習の一部が極端に苦手である。
- 自分のことは伝えられるが、指示の理解ができない。

■人との関わりの場面で

- 話は上手でむずかしいことも知っているが、一方的に話すことが多い。
- 相手にとって失礼なことや、傷つくことを言うてしまう。
- 「きちんと」など、あいまいな言葉の理解がむずかしい。

このようなことで「**困っている**」「**不安になり心配**」「**発達障がいかな？**」と思われるときは、各機関に相談することができます。

※以上のようなことがあったとしても、必ずしも発達障がいだというわけではありませんが、困っていたり、生活に支障がでてしまったりしている場合は、市の相談窓口にご相談してみてください。

どこに相談したらいいか、まよったら・・・

嘉麻市子育て総合支援センターへ

子育てや教育に関することで困っていることがあれば、嘉麻市子育て総合支援センターにご相談ください。

【嘉麻市子育て総合支援センター連絡先】

☎0948-62-5715 子育て支援課 母子保健係
 ☎0948-62-5716 子育て支援課 発達相談支援係
 ☎0948-62-5717 子育て支援課 家庭・教育相談支援係

嘉麻市の相談窓口

■学校生活に関すること

◆教育相談窓口

子育て支援課 家庭・教育相談支援係（碓井支所）
 …☎0948-62-5733（専用ダイヤル）

◆適応指導教室（れすとびあ）

教育委員会 教育研究所（碓井支所）
 …☎0948-62-5728

■特別支援教育に関すること

教育委員会 学校教育課 教務係（碓井支所）
 …☎0948-62-5726

■通所支援（放課後等デイサービス）などの福祉サービス利用

社会福祉課 障がい者福祉係（本庁舎）
 …☎0948-42-7458

■お子さんの発達について相談したい

◆こどもクリニック

※不定期での開催になります。

スポーツ推進課
 プロジェクトK・スポーツ推進係（碓井支所）
 …☎0948-62-5730

◆おひさま教室を終了した児童の発達相談

子育て支援課 発達相談支援係（碓井支所）
 …☎0948-62-5716

発達障がい全般に関する相談

福岡県発達障がい者支援センター ゆう・もあ
 田川市夏吉4205-7

☎0947-46-9505

福岡県の相談窓口

就学児童生徒用

お子さんの発達や学校生活で
 気になることや心配なことについて

相談できます！！



お子さんの「行動」や「特性」で
 気になることがあれば、市の
 相談窓口や各機関にご相談く
 ださい。

嘉麻市発達支援連携協議会

お子さんの困っていることに

気づく

お子さんの特性を

理解する

お子さんの特性にあわせて

対応を工夫する

お子さんの「安心」「自信」
「自己肯定感」「家族や他人
への信頼感」へ

保護者だけでなく、まわりの方がこのような
特性について理解していただき、そのお子さんの
特性にあわせて対応を工夫されることで、お子さ
んの「安心」「自信」「自己肯定感」「家族や他人へ
の信頼感」などにつながります。

発達障がいのある子どもたちは、発達の進み方に早いところと遅いところがあることや、周囲との関わりから、集団生活での悩みを抱えることがあります。

そのようなときには、環境を調整し、子どもたちの特性を「強み」として伸ばしていく支援が重要となります。
お子さんがどんなことが得意で、何が苦手なのか、日々の考え方や行動の仕方をよく見て、特性を理解することから始めましょう。理解を深め、適切な対応をすれば、その個性や能力を十分に生かしながら、学校生活を送ることができます。

気づく



■早めに気づくことが大切です

社会で生きていくためには、社会性やコミュニケーションが必要となりますが、発達障がいのあるお子さんは、それが苦手なことが多いため、小学校（義務教育学校）などの集団でさまざまな問題に直面するかもしれません。早めにお子さんの困っていることに気づいてあげることが大切です。

理解する



■本人の特性や気持ちを理解する

できることとできないことのギャップが大きいので、「わがまま」や「努力不足」「やる気がない」などと思われがちです。そうした特性は、しつけや育て方に原因があるわけではありません。保護者やまわりの方たちがお子さんの特性を理解して、一人一人の特徴に応じた配慮や支援をしていくことが重要です。

対応を工夫する



■過程を見守り、結果をほめる

努力している点やうまく行っている点をほめたうえで、できなかったところは、どのようにすればもっとよくなるかを肯定的、具体的に伝える。



■読み書きや計算が苦手なときは…

「文章を細かく区切り、繰り返し話す」「タブレットやアプリケーションといった道具を活用する」など、一人一人に合った方法で工夫をする。

合理的配慮



■学校の先生との情報の共有

集団での活動が多い学校では、日々の家庭での様子とは違う様子が見られることもあります。家庭と学校で、お子さんについての気づきを伝えあい、信頼関係を築いていく。



お子さんの特性で、気になることがあれば、自分一人で解決しようとせず、市の相談窓口や専門機関に相談してください。